

## 流域の概要

須賀川は、愛媛県南部の中心地域に位置し、その源を泉が森（標高755.0m）に発して途中、左支川正し川と合流して宇和島市内を貫流ののち宇和島湾に注ぐ流域面積37.8km<sup>2</sup>、流路延長8.0kmを有する県下では中程度の2級河川である。

須賀川の当地域におよぼす影響は、宇和島市街地を貫流するため一度洪水に見舞われると、その被害は甚大なものとなる一方、宇和島市の上水道の重要な水源として欠かせないものである。

気候的には、豊後水道を前にして位置しているため、台風進路に当り、年間総雨量は、平均1,600mm～1,700mmに達する状況でありながら、一方、2ヶ月間に亘って降雨のない日が続く等、非常に不安定な気象状況である。ダム建設前の水利用状況は宇和島市上水道の主要水源として3ヶ所の小規模な堰堤（合計貯水量224,600m<sup>3</sup>）から最大11,000m<sup>3</sup>/日を取水していたほか下流地域の水田17.0haが、かんがい期に3,300m<sup>3</sup>/日程度の取水を行っていた。

このような諸問題に対処すべく愛媛県が昭和44年調査を開始し、昭和48年に工事を着手、昭和51年3月に完成に至った。

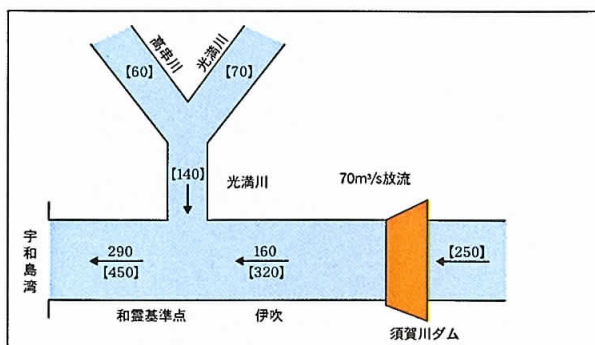


## ダムの目的

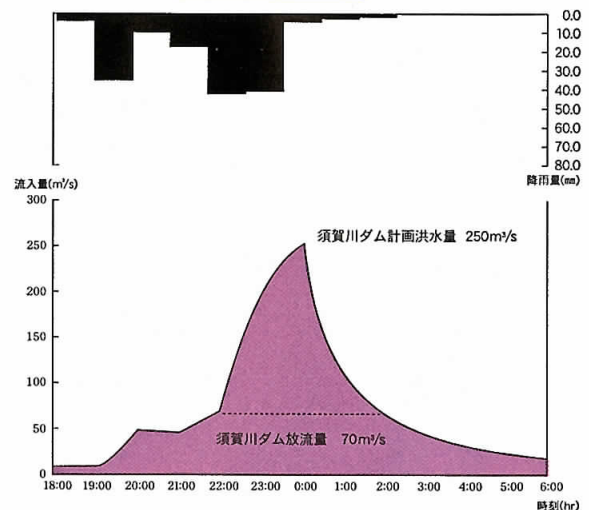
### ■洪水調節

須賀川ダム地点の計画高水流量250.0m<sup>3</sup>/sのうち180.0m<sup>3</sup>/sの洪水調節を行ない、下流宇和島市街地の水害を防除する。

計画高水流量配分図



洪水調節計画図



### ■流水の正常な機能の維持

ダム地点下流の須賀川沿岸の既得用水の補給を行なうとともに流水の正常な機能の維持と増進をはかる。

### ■上水道用水

ダム地点において、宇和島市に最大20,304m<sup>3</sup>/日（0.235m<sup>3</sup>/s）常時16,848m<sup>3</sup>/日（0.195m<sup>3</sup>/s）の上水道用水を補給する。